Asian Productivity Organization
“The APO in the News”

Name of publication: Nikkan Sangyo Shimbun (9 June 2016, Japan)
Page: 2

エコプロダクツ国際展開幕

「24時間エコライフ」テーマ　タイで11日まで開催

【バンコク・濱坂浩司】アジア生産性機構（APO）、タイ工業連盟、タイ生産性本部が主催する「第10回エコプロダクツ国際展」（EPIF2016）が8日、タイのバンコク国際貿易展示場で開幕した。11日までの4日間開催される「EPIF2016」にはタイをはじめ、アジアを中心に各国から多数の来場者を見込む。

200人強が出席した開会式ではタイのプラジン・チャントーン副首相が開幕を宣言。APOの組織であるGPAC（緑の生産性諮問委員会）の馬田一会長（JFEホールディングス相談役）は、「APOはEPIFを通じて、アジア太平洋地域において持続的な成長を実現するための課題に取り組む上での役割を果たし、貢献してきた。今回は『24時間エコライフ』とタイムリーなテーマ。EPIFの開催にあたって、ステークホルダーや出展者、講演者、協力いただいた方々に感謝する」とあいさつした。

また、EPIF2016出展者を対象に環境配慮型製品やサービスを提供し、持続可能な開発などに取り組む企業を表彰する「EPIF2016大賞」の表彰式が執り行われ、初受賞のJFEグループをはじめ9社が表彰された。

EPIFはアジア各国における循環型社会の形成、環境製品・サービスの普及、環境事業の振興を目指すアジア最大規模の環境国際展示会。今回は2005年以来となるタイでの開催。JFEをはじめ日系企業は32社、タイ企業が83社、台湾とコロンビアからそれぞれ1社の合計117社が出展している。同展示会は11日まで催され、入場は無料。

EPIF大賞

JFEグループ初受賞

プラジン・チャントーン副首相からEPIF2016大賞を授与される岩野利哉・JFESタイ社長㊧

(日刊産業新聞　2016 年 6 月 9 日付　2 面)